

# 浜コ三協だより

令和5年度  
第20号

●「浜コ三協」は「浜浦小学校区コミュニティ協議会」の略称です。●この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。



浜浦小学校区コミュニティ協議会（以下「浜コ三協」という。）は、今年も10月1日に関屋中体育館をお借りして第13回合同演奏会を開催しました。



子ども達の成長と共に、笑顔あふれる地域に！

会長 池田 伸一

地域の多くの皆様から足を運んで頂き改めて感謝を申し上げます。アンケート結果では「浜浦シンフォニーの可愛い演奏らしい演奏トロンボーン4つだけで曲を吹き上げる素晴らしさ、関屋中吹奏楽部は全て迫力があり、チームワークの良

さを感じた」「どのグループの演奏も素晴らしくとても素敵な時間を過ごせました」など演奏者にとってうれしい評価を一杯頂きました。特に「浜コミの皆様が子ども達を成長させて下さる場を作っていると思いました」という温かいご意見も頂き、私どもも来年も素晴らしい演奏会にしようと思っております。また、9月20日は、浜浦小の全校児童と学校行事「なかよし遠足」の中で関屋浜の海岸清掃を行い、私達浜浦地区の海岸や砂浜を綺麗にすることができました。子ども達の感想では「6年生と2人でごみ袋と一緒に持ち、初めて使う火ばさみで協力してごみを拾いました」「ペアを組んだ4年生は私が気付かなかったような大きさのゴミも残さずに拾っていました。その姿を見て私も心を込めていてねいに拾おうという気持ちになりました」「みんなで助け合い協力することはうれしい気持ちになることに気づきました。来年もたくさん学んで大人への階段を上りたいです」「みんなと仲良くなり、絆が深まって楽しく成長できた1日でした」。また、小林校長先生からは「子ども達は地域の大人と話をすると大きく成長する」という言葉も頂き、



日頃、保護者として話をしたことがない子ども達にとって良い機会になったと思っております。そしてボランティアで参加して頂いた地域の大人も子ども達からたくさん元気をもらいました。これからは子ども達がたくましく生きる力を育めるよう、こうした学校と地域の連携活動が続けて行きたいと思っています。



部会報告 — その1

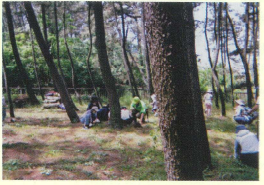
自然環境と森づくり

環境整備部会 部会長 春日 実

環境整備部会は今年もたくさんの皆さんと森づくりに励みました。



(1) 5月13日(土)には環境改善第2回目で関屋松波町三丁目の上から息づく土壌改善を11名で体験し、日常を忘れるひと時でした。



(2) 5月21日(日)は28名のガールスカウトの皆さんと一緒に子ども達の森林整備事業で異空間を感じつつ土壌に優しい草刈りを体験しました。

(3) 9月7日(木)田村顧問より浜浦小学校4年生の皆さんに森づくりの学習で防砂林・防風林の授業

健康増進を目指して

文化スポーツ部会 部会長 中静 浩一

十二年前、当校育成会のメイン行事であった「ねむの森の宝さがし」というねむの森でクイズラリーを楽しむ行事があり、折角の準備万端で臨んでもありにくの雨で競技が出来ない状況が数年続き、何とか屋内で楽しめる行事はないかという相談をもちかけられ、南区のスポーツ推進委員さんの協力の下フロアカーリングを当コミ協で引き受けて十二になりました。今年からは前年と同じ十二月十七日に開催されます。又、今年度の新事業として来春アジャタという新競技を企画致しました。アジャタは「全日本玉入れ選手権大会」の略称で、百玉のお手玉を竹竿の上にある籠に投げ入れる競技で、競技者も観覧者も手に汗を握る迫力ある競技です。当部会はコロナ以来引きこもりがちのお年寄りが子供達と共に楽しめる競技を望んでおりますので、ご案内後は非体育館に足を運んで頂く事を願っております。



部会報告 — その4

里親制度について

福祉教育部会 部会長 遠山 恒夫

里親制度について学ぼうと、新潟市児童相談所の関さんと佐藤さんに来て頂きました。現在、新潟市は新潟市登録の四三組と里親市の元で、六名の計四八組の里親の元で、一名の子どもたちが生活をしています。新潟市の里親登録者は不足しています。新潟市の里親登録者の数は百二十三組ですが、里親の登録をしても、養子縁組を組んで養育中の方や、家庭環境の変化などで子どもを預かることが出来ない方などがあるからです。里親になることができなくても、里親制度に関心を持ち、里親を必要とする子どもたちがいることを知り、里親になつてい人への理解を深め、支援したいと思う人が増えていけば良いなと思っています。



部会報告 — その5

後継者がいない問題について

中央区長とミーティング

総務部会 部会長 池田 伸一

11月27日(月) 浜コミ協定例会では、中央区の佐久間区長以下5名の方々をお迎えし中央区長ミーティングを行いました。事前にとりまとめた浜コミ協からの地域課題「後継者がいない問題について」中央区長から丁寧な説明や回答がありました。現在の浜浦地区各自治会役員及び浜コミ協役員は70代の高齢者の方が多く、後継者がいないため止むなく引受け続けているボランティア精神の溢れた方々ばかりですが、後5年もすると退任となり、このままでは地域活動が継続できなくなる恐れがあるという深刻な状況を浜コミ協会長より最初に説明があり、これに対し、佐久間中央区長や大倉地域課長は、現状が厳しい状況であることは認識しているが行政として具体的に



部会報告 — その2

災害から「命」を守るには

防災部会 部会長 渡邊 俊英

近年、震度6クラスの地震や経験のない猛烈な豪雨・広範囲の氾濫・大規模な土石流災害等、様々な災害が各地域で発生し頻発化・激甚化している現状にあります。

本県は、新潟地震(一九六四・六一・一六)から来年六〇年、中越地震(二〇〇四・一〇・二三)から二〇年を迎えます。



害の被災体験であつても、歳月を経ると風化が進み忘れられていく。文献によると被災体験の風化は、概ね八年で半分、一六七年で元の黙阿弥になるといふ。人は自分のことに忙しく、他人の痛みへの共感はずいぶん薄れていく。歳月が過ぎれば、過去の惨禍を知らない世代が大勢を占めるようになる、と言われています。被災体験を語り継ぐ、継続力が必要で大切なことは言うまでもありません。

大規模な災害が発生し、避難に時間的余裕が無い時にどの様に行



良いかを訓練で覚える。地域で開催される防災訓練に積極的に参加し、避難行動を困難にする制約条件を話し合う

動すれば良いのだろうか。まず考えなければならぬことは「失敗すれば命を失うことになる」だから失敗しないように訓練をしなければならぬ。自分が助かる為にはどの様に避難すれば良いかを訓練で覚える。地域で開催される防災訓練に積極的に参加し、避難行動を困難にする制約条件を話し合うなど、状況認識を共有すること、自分の役割も考える(共助)のも大切。都市に居住する人々の多くは、近所付き合いを敬遠しがちですが、生活基盤が失われたら頼るのは横のつながりです。災害時の行政活動には限界があります。普段から町内活動に参加し地域の人と楽しいつながりを作っておくことは、防災上の観点からも大切なことです。自分の身を守るためにも顔の見える関係を築きましょう。また、生活情報機能が確保することが人々に安心感を与えます。「何が起きたのか(事実情報)」「どう行動すれば良いか(指針情報)」を確保することは、災害時最も重要でパニックを防ぐ大切な要件です。ラジオ・スマホ等を活用しましょう。尚、充電器は必需品です。



# 合同演奏会

**浜浦小学校**  
**浜浦シンフォニー器楽部**

部長 小川 実里

6年

こんにちは。浜浦シンフォニー器楽部、部長の小川実里です。先日行われた、浜コミ合同演奏会に米てくださった皆様、演奏会を開催してくださった浜コミ協の皆様、本当にありがとうございます。今年も、去年よりも活動の制限が少なくなり、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、チェロなどの楽器が復活し、演奏がより華やかになり、とても嬉しく思っています。今年の演奏で、私たちが特に力を入れた曲が、セントポール組曲の第一楽章、ジグと第二楽章オスティナートです。この曲は、強弱の表現や多彩なリズムが魅力です。演



奏するのが難しい曲ですが、毎週、鳥谷先生にご指導してもらい、みんなで楽しく練習しました。当日は、緊張しながらも、みんなで心をあわせて上手に演奏できました。たくさん拍手してください、ありがとうございます。私たちが今、一月に行われる新潟県ジュニア音楽合奏大会にむけて、さらにかんばって練習しています。来年も演奏会が開催されたらぜひ、また演奏を聴きに来ててください！

先日は「浜コミ協合同演奏会」に出演させていただきました。ありがとうございます。私たちがこの演奏会に、1、3年生部員全員で臨む初ステージであり、地域の方々に関屋中学校吹奏楽部の演奏を聴いていただき貴重な機会となりました。昨年度は直前になって出演を辞退する状況となってしまいました。今回は会場の皆様とともに音楽を作る楽しさを存分に感じるこ



とができます。演奏させていた5曲は、いずれも私たちがとても思い入れの深い曲ばかりです。特に「ポロネーズとアリア」「鳥之石楠船神」は夏の暑い中練習を重ね、今年度の吹奏楽コンクールで新潟県代表

を獲得し西関東大会で演奏した曲です。また、それ以外の3曲も部員全員で楽しみながら演奏することができました。あの場で皆様からいただいた笑顔や温かい拍手は、私たちが音楽活動に向かう上での大きな励みとなっています。今後、より良い演奏を地域の皆様にお届けできるよう、部員一人一人が練習に向かいたいと思います。来年度もぜひよろしくお願いたします。



浜コミ協の皆様、今回の私どもの拙い演奏をお聴きください。ありがとうございます。リクエストがありましたら是非お聞かせください。

熊木 康博

今年初めて参加させていただきました。なかなか緊張したのですが、皆様のおかげで演奏することができました。今年も、去年よりも活動の制限が少なくなり、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、チェロなどの楽器が復活し、演奏がより華やかになり、とても嬉しく思っています。今年の演奏で、私たちが特に力を入れた曲が、セントポール組曲の第一楽章、ジグと第二楽章オスティナートです。この曲は、強弱の表現や多彩なリズムが魅力です。演

# 浜浦小学校 関屋中学校

## 浜浦小の子どもは 何人か？

浜浦小学校  
校長 小林 圭一



毎年10月26日の創立記念日には、浜浦小に緑のある方を招いて集会を行います。今年は、前々校長である政台英樹先生から「浜浦小の歴史と伝統」について講話をいただきました。

「講話では、浜浦小の児童数が最も多かったのは、昭和二十九年だったとお話がありました。さて、昭和二十九年、浜浦小の児童数は何人だったか？

なんと、二〇八六人です。現在の浜浦小の児童数三九四人のおよそ六倍です。当時の校舎は、今の校舎とほぼ同じ広さだったのですが、六倍もの児童は一体どこに収まっていたのでしょうか。

この年の一年生は、一クラス約六〇人です。この頃は、教室が今の二倍以上の混み具合だったわけです。ちなみに、この一年生は今、七十五

歳になっておられます。新潟市教育委員会では、その年に生まれた子どもの数を基に、六年後の市内各校の在籍数を推計し、公開しています。さて、

六年後、浜浦小の児童数は何人になるか？

推計数は、二四三人。今より百人以上の減です。減少率は三〇%を超え、市全体の減少率一五%を大きく上回っています。

在籍児童減に伴って、クラス数も減少します。推計通りであれば、六年後は、一年生が、七年後は二年生と三年生が学年一クラスになる見込みです。

クラスが減れば教員も当然減り、これまでの日常的な活動、例えば「校外学習におけるコース別の活動」といった自由で「到達を学びに制限がかけられます。つまり、従来の教育活動全般の見直しが必要となるのです。

児童数減を食い止めるために、私たち地域の方々と協働できることはあるのか。また、児童数減に備え、浜浦小の教育をどう構築し直し、どう準備を進めていくか。

私たち学校職員は今、しっかりと見つけ、しっかりと考え、未来の浜浦小の在り方に思索を巡らさねばならない、そう考えています。

## 関屋中学生徒の魅力

関屋中学校  
校長 小林 英男



いつも浜浦コミュニティ協議会の皆様には、中学生に活躍の場を与えていただき、また、活動をサポートしていただき、感謝申し上げます。

今回は、関屋中学生の魅力を紹介いたします。

### 1 学習

関屋中学校の生徒は、うなずいて教師の話を受けます。教師の問い掛けに反応し、挙手して自分の意見を発表します。

グループでの話し合いでは、友達の見えを聞き、尊重し、賛成反対の意見を述べることが出来ます。

対話的で協働的な学びが成立しています。技能教科では、技術の習得、飲み込みが早いです。

定期テスト前は、驚くほど家で勉強します。小学校で身に付いた学習習慣のおかげだと感謝しています。

### 2 行事

運動会、音楽発表会への準備期間は他校に比べて短いです。

しかし、生徒は仕上げます。要因はリーダーの指導力です。リーダーが効率よく同級生・後輩に指導できているため、短時間でダンスや合唱を仕上げる事が出来ます。

今年の運動会の仕上りの良さには驚きました。音楽発表会は、保護者の方々も涙する感動的なものとなり、「伝統が後輩に受け継がれました。

### 3 挨拶

関屋中学生徒の挨拶は、決して大きな声ではありません。

しかし、目を見て会釈して挨拶してくれます。温かい気持ちになります。優しい気持ちの生徒がたくさんいます。

「自分にはよいところがある」と答える生徒が他校より多いです。要因は、保護者・地域の大人から褒められ、認められる機会が多く、自己有用感が高まっているからだと思えます。

これからも活躍の機会をいただき、地域に貢献することで、自分に自信をもつて生きていける生徒の育成に、全職員で取り組んでいきます。

## にいがたトロンボーン カルテット

部長 赤川 心遙

浜コミ協の皆様、今回の私どもの拙い演奏をお聴きください。ありがとうございます。リクエストがありましたら是非お聞かせください。

熊木 康博

今年初めて参加させていただきました。なかなか緊張したのですが、皆様のおかげで演奏することができました。今年も、去年よりも活動の制限が少なくなり、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、チェロなどの楽器が復活し、演奏がより華やかになり、とても嬉しく思っています。今年の演奏で、私たちが特に力を入れた曲が、セントポール組曲の第一楽章、ジグと第二楽章オスティナートです。この曲は、強弱の表現や多彩なリズムが魅力です。演

昨年引続きの出演でしたが、今でも人前楽器を持つことが緊張します。しかし、今年も観客の皆様と一緒に演奏を楽しみました。また、中学生の皆さんも上手に演奏もつと様々な曲を演奏したいと思っています。

演奏会の開催にご尽力くださった皆さん、ありがとうございました。

大橋 千愛

昨年はトロンボーントリオでした。今年もトロンボーンカルテットで演奏することができたのは、とても嬉しかったです。4人で演奏できる場をいた

だき感謝し、ありがとうございます。来場いただいた皆様、心から感謝いたします。今年も、去年よりも活動の制限が少なくなり、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、チェロなどの楽器が復活し、演奏がより華やかになり、とても嬉しく思っています。今年の演奏で、私たちが特に力を入れた曲が、セントポール組曲の第一楽章、ジグと第二楽章オスティナートです。この曲は、強弱の表現や多彩なリズムが魅力です。演

今年初めて参加させていただきました。なかなか緊張したのですが、皆様のおかげで演奏することができました。今年も、去年よりも活動の制限が少なくなり、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、チェロなどの楽器が復活し、演奏がより華やかになり、とても嬉しく思っています。今年の演奏で、私たちが特に力を入れた曲が、セントポール組曲の第一楽章、ジグと第二楽章オスティナートです。この曲は、強弱の表現や多彩なリズムが魅力です。演



詩音



### 協力団体紹介



映画鑑賞会

3校合同映画上映会... 9月30日(土)に開... 浜浦の3校PTA主催で映画上映会を開催しました。約600人の児童・保護者・地域の方々が集まってくださり事前に見学が人気投票で決めた作品が上映されました。保護者が調理したポップコーン等を食べながら映画を楽しみました。

3校合同映画上映会... 9月30日(土)に開... 浜浦の3校PTA主催で映画上映会を開催しました。約600人の児童・保護者・地域の方々が集まってくださり事前に見学が人気投票で決めた作品が上映されました。保護者が調理したポップコーン等を食べながら映画を楽しみました。

日頃から地域の皆様には、浜浦小学校の児童の行事・活動等についてご協力を頂きまして、感謝申し上げます。今年度の浜浦小学校育成会(PTA)の活動について紹介させていただきます。

## 浜浦小学校育成会(PTA)今年度の育成会活動のご紹介

育成会副会長 國井 元樹

はまなす祭... 10月21日(土)の午前中に体育館にてスポーツ大会を行いました。綱引きでは先生・保護者も加わって一緒に楽しみました。子供達も大人も盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。



スポーツ大会



生活安全

登下校交通安全指導... 定期的に見守りを行っています。信号機のない交差点等では安全に横断できるよう交通誘導を行い、見通しが悪い場所は事故がないよう注意指導しています。

校区内巡視... 放課後に児童が遊ぶ公園施設に行き危険がないか、また利用マナー等について確認しています。

### 協力団体紹介

## 中央区区ビジョンまちづくり計画スタート!

中央区役所地域課 高野 旭

浜浦地域の皆様には、日頃から地域課の事業や取り組みにご協力いただき感謝申し上げます。今年度より新たに「中央区区ビジョンまちづくり計画」がスタートしました。区民の皆様からご意見をいただきながら作り上げた本計画は、新潟市総合計画の一部である区ビジョン基本方針の実現に向けた取り組みと、実施計画に相当する具体的な取り組みを示した中央区のまちづくり計画です。令和5年度から12年度までの8年を計画期間とし、区の将来像を「にぎわう都心、豊かな自然、みなとまち文化が織りなす活気あふれる拠点のまち」と定め、区の特長や課題を踏まえた取り組みについて示しています。

本計画の実現に向け、今年度、当課が新たに取り組んでいる事業をご紹介します。

一つ目は日和山浜魅力創出事業です。交通アクセスもよく、良好な自然環境に恵まれた地域資源である日和山浜を活用し、多様な主体と協働しながら、人口減少と高齢化を改善するため、「しもまち地域」の魅力創出に努め、地域活

性化、観光振興、移住・定住促進に取り組んでいます。海水浴シーズンの7月から8月にかけては、浜辺で楽しめるイベントを週末に開催し、市内外の多くの方からご来場いただきました。二つ目は西海岸公園多目的広場拡張整備事業です。西海岸公園多目的広場にストリートバスケットコートを増設整備し、広場の充実を図ることで、西海岸公園のさらなる魅力創出と、認知度の向上、利用促進に取り組んでいます。7月には本事業の完成記念イベントを開催し、新設コートを使用したバスケットボール大会やスケートボード体験会などに多くの方からご参加いただきました。

今後、皆様とともに、地域の魅力向上に取り組み、区の将来像である「活気あふれる拠点のまち」の実現に向け、様々な取り組みを進めてまいります。



日和山浜

## 熱意が困難を乗り越える

関屋地区公民館 館長 関口 亨

私たちの生活に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症も第5類に移行し、少しずつ日常生活が戻ってきた令和5年度。地域の皆様の活動も徐々に動き出し、公民館にもまた賑やかな声が届きました。

そんな中、当関屋地区公民館においても、ここ3年間お休みしていた文化祭が復活するという嬉しい出来事がありました。もちろんコロナ禍前とまったく同じ形というわけにはいきませんでした。多くの制約がある中で、利用者協議会の役員をはじめ運営に携わってくださった皆様が、「どうしたら文化祭を開催することが出来るだろうか」と、様々な知恵を出し合い、熱心に検討を重ねたことが今年度の文化祭復活に繋がりました。

言うまでもなく、学習を重ねる過程において、その成果を発表し、またそれを振り返ることは極めて重要なステップの一つです。その意味でも、今回の文化祭復活は私ども公民館職員にとっても本



文化祭 音楽部発表



文化祭 音楽部発表

当に嬉しいことでした。職員一同、これからも皆様の学習への熱い思いを応援する存在でありたいと考えておりますので、地域の皆様からの変わらぬお力添えをいただけましたら幸いです。

## 学校と地域をつなぐ役割として

浜浦小学校地域教育コーディネーター 佐藤愛子・藤本麻由美・小川美月・小山明子

いつもパートナーシップ事業にご協力いただきありがとうございます。地域とともに歩む教育活動ができるよう、今年度も活動して参りました。学習支援活動や地域貢献活動を通し、講師の方々や地域、保護者のボランティアの方々から多くの支援をいただきました。その中で子ども達が育まれていくことに喜びを感じています。

学校を学びの拠点とした活動を四年ぶりに再開しました。地域で活躍の講師の方をお招きし、地域・保護者二十二名の方々に参加していただき、フラワーアレンジメント教室を開催しました。



霧雨の中、ミニクリスマスツリーを作製し、地域のつながりが深められた交流の場と



私達コーディネーターも共有し、地域と学校の協働活動の充実を図りたいと思います。

学校が元気に、地域が元気に、子ども達が笑顔で活気あふれる学校生活を送れるよう、これからも活動を続けていきたいと思っております。今後とも地域の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。





# トリットボール大会

## 浜浦小学校区スポーツ振興会

中静 浩一



新潟市が市民の健康増進を願い、全国に先駆けて各小学校の夜間利用を可能とし、学校開放の実現と同時に組織されたのがスポーツ振興会であり、その構成は

長・スポーツ推進委員・各利用団体長等、正にコミ協の前進といつても過言ではないと思います。

今年、異常な暑さが一段落した九月十六日、前年に引き続きトリットボール大会を協賛しました。因みにトリットとはイタリア語の三を意味し、三度で木の玉をホールアウトするゴルフに似た競技です。又、三十五年前に新潟市発祥の生涯スポーツで、昨年の倍近くの五十六名の参加があり、グランドに大きな歓声が響き渡り、ナントホールインワンが大人と子供に各一名ずつ出て大変盛り上がった大会となりました。今後この地区の皆様が気軽にスポーツを楽しめる機会を作りたいと思います。



# 浜浦しやきよの活動

## 浜浦小学校地区社会福祉協議会

会長 早福 晃

「浜浦しやきよ」は地域で安心して暮らすことのできる「まちづくり」を目指して活動しています。

その一つは、地域で暮らす人の顔が見え、お互いを、思いやる関係を育てるための場の提供です。



この活動は地域住民、自治・町内会、民生児童委員協議会（民児協）、教育、行政の方々などと協力し合って進める必要があります。その皆さんが参画している「浜コミ協」の一員として情報交換、意見交換をさせていただいています。

今年の十一月には、4年ぶりに民児協と共催で「地域のつどい」を開催し大勢の皆様参加をいただきました。

今回は、はじめに、「秋の調べ」を聴き、「笑い」で福を呼び寄せ、最後に「いざ、というときの・ためになるお話」を聞く、といったプログラムでした。

少しは、顔が見える関係づくりの役に立ったでしょうか。

これからも、皆様の協力・参加をいただき活動を継続していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

# 浜浦地区民児協の活動と紹介② 「地域をつなぐ民生委員児童委員」

## 浜浦地区民生委員児童委員協議会

会長 相田 八郎

令和四年十二月の改選で委員十九人の半分近くが新人に替わりました。浜浦民児協の活動の主な取組みは「つなぐ」です。地域の方々の悩みでどこに相談・誰に相談等を解決の為専門家へつなぐ手助けと高齢者や子供達の見守りです。今年コロナがほぼ終わり、諸先輩委員から脈々と受け継がれ、市の事業のお手本にもなっている「あかちゃんお誕生おめでとう祝う会」に春、秋で十二組の乳児親子が参加し、参加者同士の懇親を楽しんでいただけたと思っております。

また委員OBの方等が開設された「地域の茶の間」で、お手伝いさせていただく委員も多く活動し高齢者への支援を学んでいます。

ところで私達民児協が活動するこの地域も年々高齢化の波が押し寄せている現状です。新聞配達の方から〇〇宅は新聞がたまっている・等の連絡が来ると地域委員と連携し、現況を把握し、その結果、交番に確認をお願いする等もあり「いかに見守るか、つなぐか」が大きな課題のひとつでもあります。

# 新潟シティマラソンに参加して

## 関屋中学校一年 佐野 歩幸

私は初めてシティマラソンの給水ボランティアに参加しました。そこではランナーの方々のためのドリンクを用意するだけでなく、声を出して応援したりゴミ箱の準備を行ったりしました。ランナーの中にはスリッパを着ている人やキャラクターの全身タイツで走っている人もいて、見ているだけでも楽しかったです。このボランティアはとてもやりがいのある仕事なので、来年も機会があったら参加してみたいと思います。

## 関屋中学校二年 河内 歩美

シティマラソンのボランティアを経験して、思ったよりも忙しくて驚きました。でも、走っている人たちが「がんばれ」などの声を掛けていただいて、忙しくて大変でも頑張ろうという気持ちになりました。また、感謝の言葉を言われることも多く、自分がやっていることは走っている人の役にたっているのかな、と思うと嬉しかったです。終わった時は疲れていましたがとてもやりがいがあり、またやりたいなと思いました。

## 関屋中学校二年 川口 貴大

僕は、十月八日に行われたシティマラソンに給水ボランティアとして参加させていただきました。ボランティアとして参加していく中で慣れないことも多々ありましたが、様々な方の協力のもとなんとかやり遂げることができ、同時に誰かを応援することの楽しさ、喜びといったことも学ぶことができました。日々の中で、応援したい、応援して欲しいと思える人になれるようにがんばりたいです。